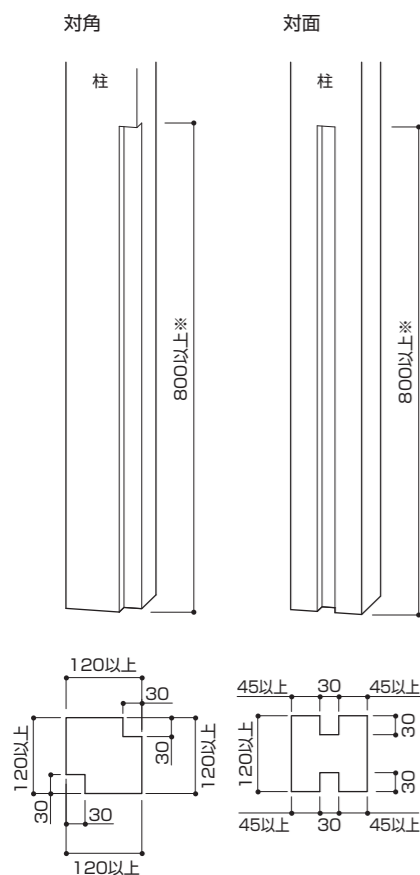


**木材加工** ※断面120mm×120mm以上の木材にご使用ください。

## ■ 柱脚部使用時の加工

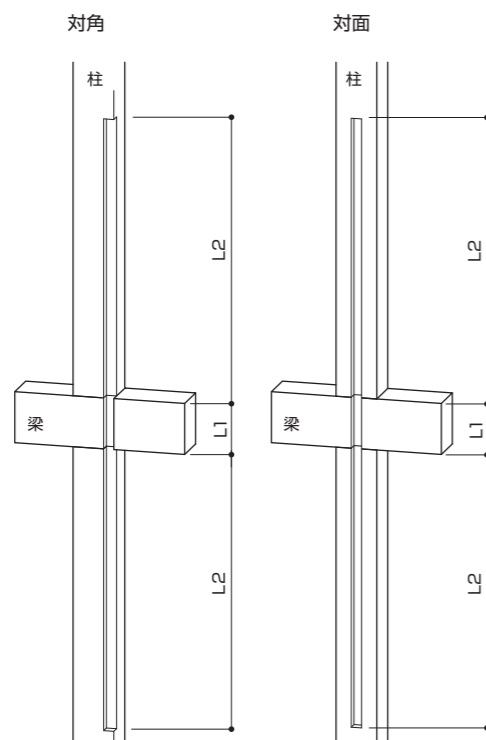
〈柱脚部〉



※長さは納まりにより異なります。詳細はホームページのマニュアルをご確認ください。

## ■ 丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト使用時の加工

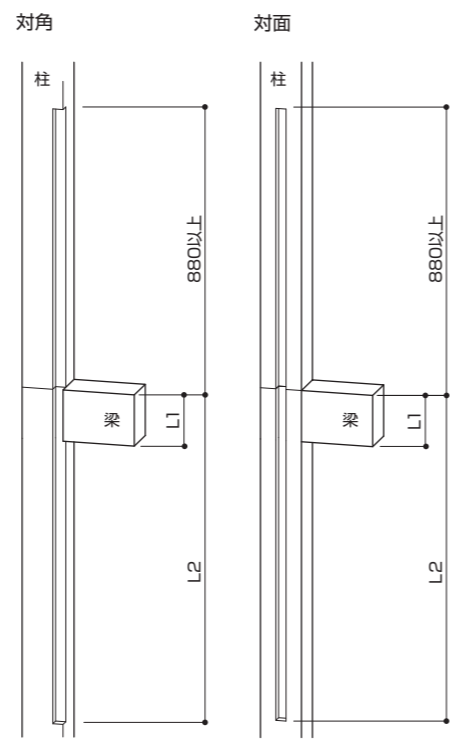
〈上下階引寄せ部・胴差し接合部〉



梁成 L1 (mm)	しゃくり加工長さ L2 (mm)	丸鋼ホールダウン 専用引寄せボルト
105	912.5 以上	M18×370
120	905 以上	
150	890 以上	
180	875 以上	
210	920 以上	M18×490
240	905 以上	
270	890 以上	
300	875 以上	
330	935 以上	M18×640
360	920 以上	
390	905 以上	
420	890 以上	
450	875 以上	

※胴差し接合部で使用する場合、間の柱幅についても同様です。

〈柱継ぎ手部〉



梁成 L1 (mm)	しゃくり加工長さ L2 (mm)	丸鋼ホールダウン 専用引寄せボルト
梁なし	1050 以上	M18×370
105	1050 以上	M18×370
120		
150		
180		
210	1170 以上	M18×490
240		
270		
300		
330	1320 以上	M18×640
360		
390		
420		
450		

## 注意事項

- ご使用前に必ずホームページのマニュアルをご確認ください。
- 断面120mm×120mm以上の木材にご使用ください。
- 木材の引張強度にご注意ください。
- 対角・対面ともに2本1組(2本/箇所)でご使用ください。
- 柱継ぎ手部に使用の場合、仕口加工等、梁の納まりにご注意ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の効果が得られませんのでご注意ください。
- ※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱えると破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

# 丸鋼ホールダウン 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

## 用途

■ 基礎と柱の緊結、柱継手の緊結、柱および鉛直材を介した横架材の緊結、横架材を介した管柱の緊結に使用します。

## 特長

- 引張耐力120kN(2本1組)と超高耐力です。
- しゃくり加工を施した木材に金物を納めることで、木材の面から金物が突出することなく、きれいに納まります。

## 構成

### ■ 丸鋼ホールダウン〈両引き用〉

丸鋼ホールダウン(正ネジ)	2本
丸鋼ホールダウン(逆ネジ)	2本
丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト※1	2本
専用ビスYPR-85(Mブロンズ)	136本 (丸鋼ホールダウン1本あたり34本使用します。)

※1 丸鋼ホールダウン専用引寄せボルトは、梁成に応じて3種類あります。

丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト	対応梁成
M18×370	105 ~ 180
M18×490	210 ~ 300
M18×640	330 ~ 450



丸鋼ホールダウン(正ネジ)  
丸鋼ホールダウン(逆ネジ)



丸鋼ホールダウン柱脚専用  
六角ボルト(M18×50)



専用ビス  
YPR-85(Mブロンズ)



(一財)建材試験センター品質性能試験

短期基準接合引張耐力(Pot)

**120.0kN**

※丸鋼ホールダウン2本1組を対角または対面で使用した場合の耐力を表記しています。

### ■ 丸鋼ホールダウン〈柱脚用〉

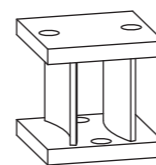
丸鋼ホールダウン(正ネジ)	2本
丸鋼ホールダウン柱脚専用六角ボルト(M18×50)	2本
専用ビスYPR-85(Mブロンズ)	68本 (丸鋼ホールダウン1本あたり34本使用します。)

※別売品の丸鋼ホールダウン専用柱脚金物が必要です。120角以外の場合は、別途設計してください。



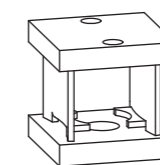
丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト  
(L370、490、640)

## 丸鋼ホールダウン専用柱脚金物(別売品)



**M16-120用**  
付属品:なし

※アンカーボルトは高耐力フレックス  
アンカーボルトを2本ご使用ください。



**M20-120用**  
付属品:偏芯座金×1枚  
専用座金×1枚

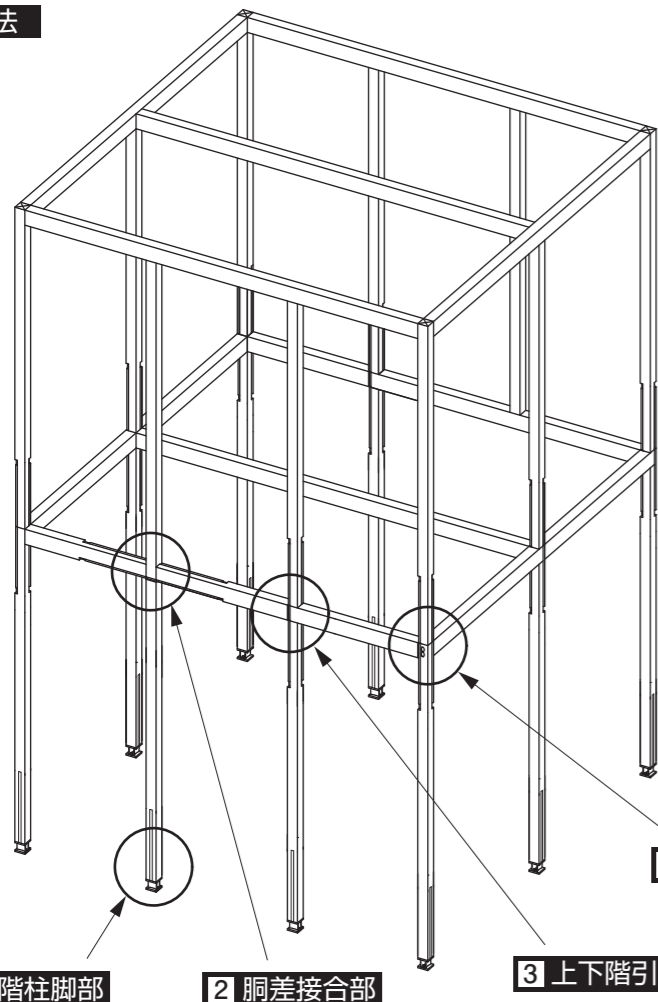
※アンカーボルトはMPアンカーボルト  
を適切な長さにカットしてご使用ください。

詳細は中面「柱脚部使用時の施工方法(■1階柱脚部)」をご確認ください。

施工方法は **中面** をご覧ください。

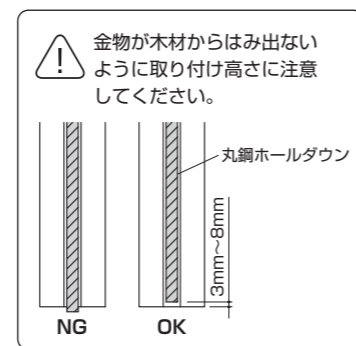
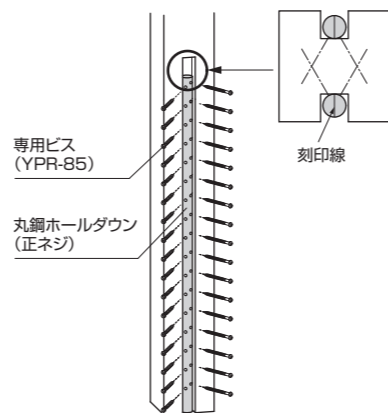
# BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770  
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077



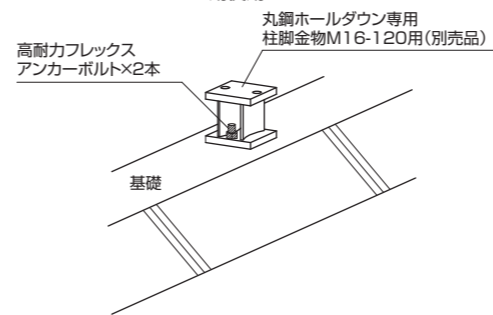
柱脚部使用時の施工方法 (1 1階柱脚部)

① 丸鋼ホールダウン先端の刻印線を図のようにまっすぐ合わせ、木材に専用ビス(YPR-85)を用いて接合します。



② 基礎と柱脚金物を緊結します。

施工例 丸鋼ホールダウン専用柱脚金物 M16-120用使用



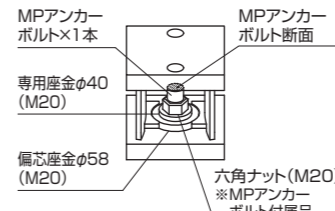
柱脚金物によって使用するアンカーボルトの種類、本数、基礎からの寸法が変わります。

柱脚金物	M16-120用		M20-120用	
アンカーボルト	高耐力フレックスアンカーボルト		MPアンカーボルト	
本数	2本		1本	
基礎からの寸法	パッキン無	パッキン有 (20mm)	パッキン無	パッキン有 (20mm)
	60mm	70mm	70mm	90mm

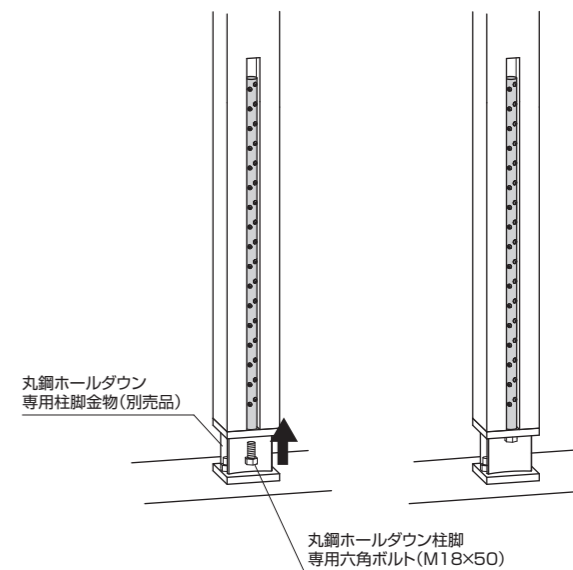
※基礎パッキンの上から施工可能です。

丸鋼ホールダウン専用柱脚金物M20-120用を使用する場合

偏心座金φ58(M20)を金物にはめ込み、その上から専用座金φ40(M20)を通し、M20六角ナットで緊結します。MPアンカーボルトの長さはL=1,000mmですので、必要な長さにカットし、カット断面にタッチアップ等で防錆処理を施して使用します。

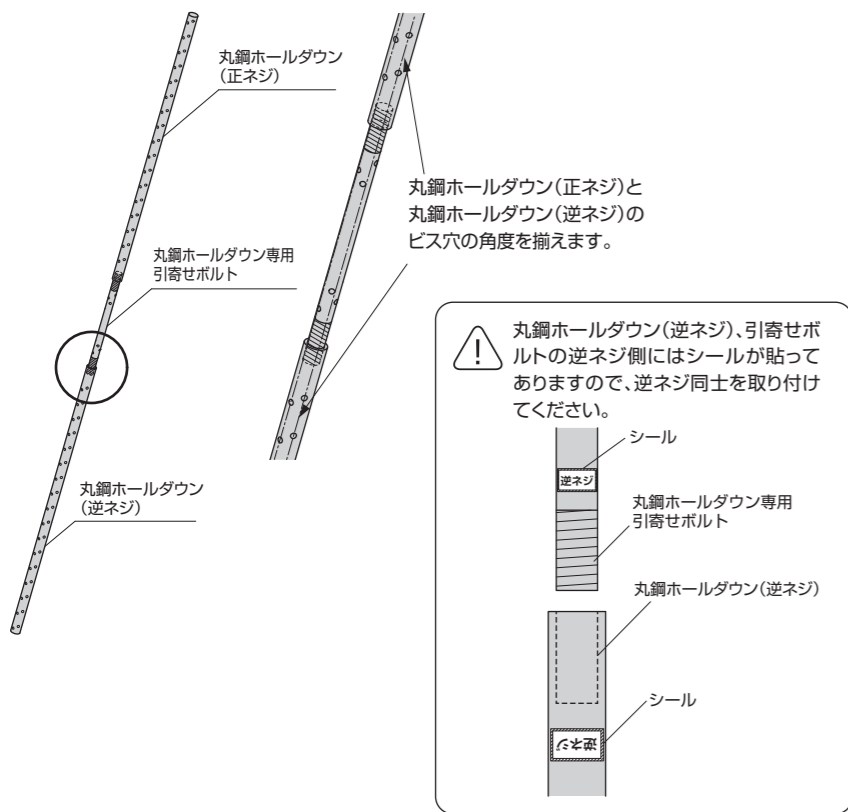


③ 柱脚金物と丸鋼ホールダウンを丸鋼ホールダウン柱脚専用六角ボルト(M18×50)で緊結します。  
※ボルトを最後まで締め付けた際、丸鋼ホールダウンのメネジへのかかりが20mm以上になるようにしてください。



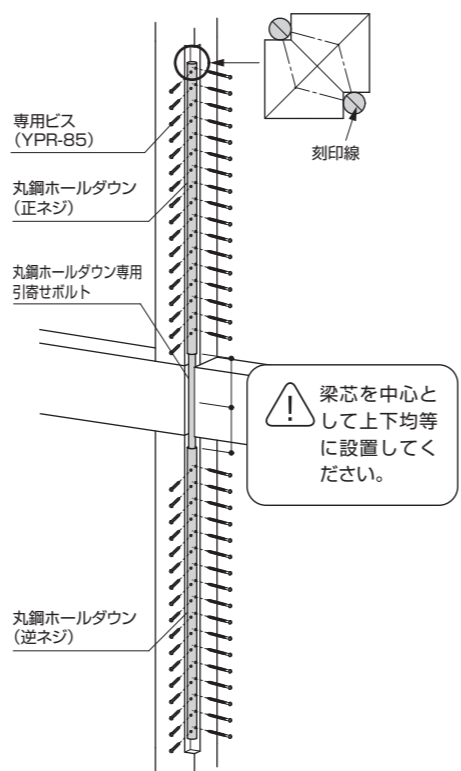
丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト使用時の施工方法 (2 胴差接合部、3 上下階引寄せ部、4 柱継ぎ手部)

① 丸鋼ホールダウン専用引寄せボルトに丸鋼ホールダウンを取り付け、2本の丸鋼ホールダウンの向きをそろえます。  
※ネジのかかりが20mm以上になるよう注意してください。  
※ネジは最後まで締め込みます、5mm程度余るように取り付けてください。

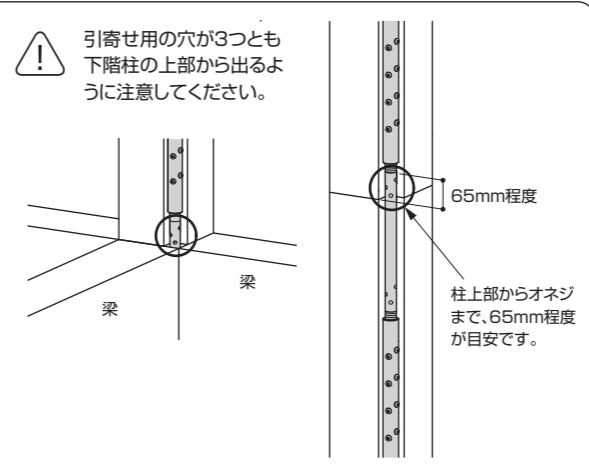
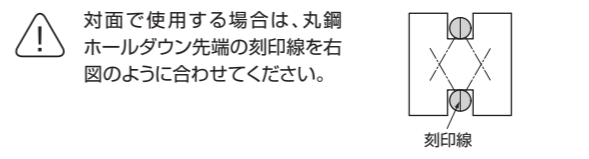
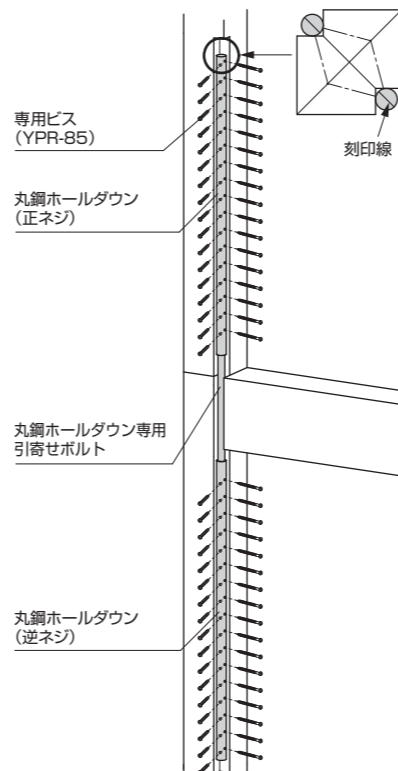


② 丸鋼ホールダウン先端の刻印線を図のようにまっすぐ合わせ、木材に専用ビス(YPR-85)を用いて接合します。

〈上下階引寄せ部〉



〈柱継ぎ手部〉



③ ビット等を丸鋼ホールダウン専用引寄せボルト胴部の穴に差込み、回して引寄せます。

〈上下階引寄せ部〉

